

## 令和4年度第5回学校魅力強化委員会議事録

開催日	令和5年1月24日(火) 於 白石高校普通科キャンパス会議室
開催時間	15:30~16:30
出席者数	委員6名 事務局6名 (雪のため1名オンラインで参加)
出席者氏名	委員: 江口、谷崎、筒井、平井、門田、溝口 事務局: 中島、平山、小川、北村、鶴田、野見山
会議次第	1 会長挨拶 2 議 事

### 議 事

#### (1) 令和4年度の振り返り

##### 《事務局より》

- 学校魅力強化委員会(学校運営協議会)を設置し、次回が今年度最後の開催予定となる。
- 年2回の両キャンパス合同の職員会議後に、SAGAコラボの研修会を開催した。1回目はアドバイザーから地域連携の成功例を説明してもらい、2回目はワークショップ形式で「育てたい生徒像」について全職員で共有した。
- 今年度の「地域連携事業」は、昨年度まで商業科のみで行われていた地域連携活動のいくつかに普通科の生徒を参加させることができた。
- 今年度より1年生全体に対して「総合的な探究の時間」で地域連携事業を実施し始めたところである。2学期に両キャンパスにまたがった検討委員会を立ち上げ、「総合的な探究の時間」を軸に地域連携事業を学校全体の取り組みとしていくため、3年間の計画を検討している。特に商業科は1・2年生の取り組みを3年生の課題研究へと繋げていきたいと考えている。
- コーディネーターを採用することができ、2学期からHPや動画作成による情報発信を担ってもらえるようになった。

##### 《委員より》

- 白石アスリートについては、2月23日に最後の講師を招く予定。1月に有名陸上選手を招き開催した。小中高が連携してうまくいっていると思うが、地元からの参加者が少ない。小中の参加者が少なく、そこが課題といえる。少子化の影響がでていっていると思う。
- アスリートクラブは地域における高校が核になれる典型的な事例だと思う。門田先生のおかげで年代の垣根をこえて、地域における高校スポーツの価値をあげている。今後は陸上競技だけでなく剣道や野球など種目を増やしていく必要がある。
- サンマ祭り  
今年度初めて高校生にも参加してもらった。実行委員という形や課題研究のチームが出店という形で参加してくれた。子供達の参加が少なかったサンマまつりのマイナス点をカバーしてくれた。実行委員には、来年はもっと主体的に参加できるよう大町町として考えていきたい。
- こどもマルシェ  
今年も多く参加があった。今年はマルシェ以外にも保育園に訪問しTシャツづくりを行った。生徒自身からの提案でイベントの開催ができたことがとてもよかった。今後はイベントなどを生徒が自主的に考え企画してほしい。
- 受け手があってこそだが、高校生の創意工夫が加わることで相乗効果がある。地域側も高校生にどのような形で関わってもらうかを考える必要がある。今後は地域との活動を「学校の魅力」として打ち出していくことができるかどうかの大事。須古における「こどもくんち」や「門松づくり」も課題解決にとっても役立っている。

《校長より》

- 須古寿司調理実習を両キャンパスで行った。1月28日はテンペを使った企画もある。学校として地域連携事業をどのように教育活動につなげていけるか、3年間をとおしてどのような力を育てていくのかを考えていく必要がある。
- 須古の「こどもくんち」に参加した商業科の生徒は販売実習ができた。コロナ禍で今までできなかったことができたことはとてもよかった。今後は普通科の生徒が参加した場合、どのような力を育むことができるのかを整理していく必要がある。
- スポーツの連携では剣道部・野球部・ボクシング部が小中学生と合同練習を行っている。小中学生に教えることで、高校生の気持ちにも変化が見られた。
- アンケートなどで、地域の方と関わることにより、どのような変化が見られるかを測っていくことが大切である。学校側の課題は多くあったが、高校生と地域が連携した新たな活動も生まれ始めた1年間だった。

(2) 来年度に向けて

《学校からの地域への提案》

- ①地域連携講座を開催したいので、生徒に町の課題と解決策についてワークショップまで含めた形でお話いただける講師を3町の役場に紹介してもらいたい。提示している分野の中からどれでもよいので。
- ②フィールドワークの受け入れ先のリストを作る際に協力していただきたい。
- ③地域の行事やイベントで、生徒が主体的に参加できる場所を提供してもらいたい。
- ④下宿先や寮、学校以外での勉強ができる場所や駅周辺に居場所がほしい。

《①～③について委員より》

【講師・受け入れ先について】

- 役場の方以外にも地域の良さを知る方でもご紹介できる人はいると思う。
- ワークショップ形式でする場合、ファシリテーターの経験がない人が多い。
- 地域おこし協力隊や門田先生などすでにかかわっていただいている人たちも対象となる。

【イベント参加について】

- 実行委員などの会議に生徒が最初から参加することが望ましい。
- 高校生が主体となって企画したイベントなどがあると面白い。
- 毎月体育館や運動場で小中学生との遊びを計画している。高校生にも参加してもらいたい。
- 大町町にある「Peri.」で高校生が講師になるようなイベントを企画してもらいたい。
- さが未来発見塾で「白石高校の陸上部で陸上指導の演習などを企画しては」という案がでていた。
- 高校生が企画するスポーツフェスやイベントがあると面白い。
- 「スポーツフェスタ白石」というスポーツイベントを行っている。「体を動かして楽しむ」をコンセプトに行っているイベントなので、その場所に高校生のブースなどあってもよいのではないかと。

※「イベントはほとんどが休日なので、参加が難しいのではないかと。」という質問があり、学校側から、「随時対応は難しいが年度はじめなどに提案があると検討できるものもある。」と回答した。

【全体について】

- 今後の活動が、キャリア教育につながっていくようにしなくてはならない。
- 地域のいろいろな方とのふれあいで自分自身のキャリア教育につながっていく。
- 白石高校が存続していくためには地域連携が学校の魅力となり、科の特色を生かした PR ができるようになっていくべきである。
- 地域に高校生が出向き、地域の方が気軽に足を運んでもらえるような場所に学校がなっていくことが大切である。
- 学校のカリキュラムにどのように反映させ組み込んでいくかが問題である。

《④について委員より》

- 白石町の商店街にあるフリースペースの「元気のたまご」などはあるがなかなか足を運んでもらえない。
- 下宿先や寮に関しては準備が整えば助成金がでる可能性がある。
- アパートなどを高校側で借りることができるのであればそれも実現可能。
- 太良高校は太良を守る会などが発起人となり県から援助ももらっている。白石高校や佐賀農業高校の同窓会などが高校の垣根を超えて協力することでより実現可能になるのではないかな。
- 高校生が電車の待ち時間に使えるような場所を作れないか考えているところである。
- 駅周辺の街灯が少ないことも課題としてあげられている。農作物への影響などもあり、設置ができない場所もあるが、可能な限り検討したい。

(3) 育てたい生徒像について

《学校より》

ループリックを作り学校と地域で生徒像を共有しながら生徒を育てたい。

《委員より》

- 私たちが子供の時よりも今の生徒たちは地元を愛していると思う。
- 大人ももっと胸を張っていいと思う。そういう目で見ないと地域の資源が見えてこない。先生方にも白石にいる間はそういう目で見たい。

(4) その他

◎「なぜ、いま探究か」というミニ研修（オンラインで1時間程度）の紹介

◎次回の予定

第6回委員会は令和5年2月21日(火)15:00~16:30

「総合的な探究の時間」成果発表会(13:25~16:15)を1時間程度視聴予定

事後 措置	朝礼時報告	○	職員会議 にて報告	校内 LAN にて広報	職員向け配布物機を利用し て広報する。
	その他 ( )				